



にしきの つうしん 錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和8年9月25日(金)

さいたま市立馬宮中学校

令和8年度 第6号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

「秋の節目に未来へ踏み出す子どもたち」

校長 衛 藤 伸 介

秋分を過ぎ、朝夕の風にようやく心地よさを感じる頃となりました。校庭では生徒たちの声が一段と明るく響き、教室では学習に向かう姿勢が落ち着きを増しています。2学期は、学習・行事・部活動が最も充実する時期であり、子どもたちが大きく成長する節目でもあります。

3年生は、いよいよ進路選択の本格的な時期に入りました。これまでの学校生活で培ってきた力を未来へとつなげていく、大切な時期です。進路を選ぶということは「自分の生き方を考えること」でもあり、期待と不安が入り混じるのは当然のことです。その迷いは、自分の進路に真剣に向き合っている証でもあります。

3年間の歩みを振り返ると、授業での学びの積み重ね、行事での協力と挑戦、部活動での達成感や悔しさ、そして仲間との支え合いなど、本当に多くの経験を重ねてきました。これらはすべて、進路選択の土台となる大切な力です。進路選択は「可能性を閉じる作業」ではなく、「可能性を広げる作業」です。学校見学や説明会への参加、家庭での話し合い、担任との相談など、丁寧な準備を重ねることで、自分らしい選択が見えてきます。

学校としても、情報提供の充実や面談体制の強化、生徒の気持ちに寄り添う支援をさらに進め、3年生が安心して未来へ踏み出せるよう全力で支えてまいります。

1・2年生は、先日行われた生徒会本部役員選挙を通して、学校の自治活動に主体的に関わる貴重な経験をしました。立候補した生徒は、自分の言葉で学校への思いを語り、責任ある役割に挑戦する姿を見せてくれました。演説では、学校生活をよりよくするための具体的な提案や、自分が大切にしたい価値観を堂々と述べる姿が印象的でした。

投票した生徒も、候補者の考えを真剣に聞き、自分の意思をもって選択することができたと思います。選挙は、民主的な意思決定のプロセスを体験する貴重な機会です。この経験を通して、生徒たちは自分の意見をもつ力や仲間の考えを尊重する姿勢、学校をよりよくしたいという思い、公の場で責任をもって行動する力を育んでいます。

そして明日からは、1・2年生の大きな舞台である新人体育大会が本格的に始まります。新チームとしての挑戦は緊張もありますが、それ以上に成長の機会です。新人戦は、これまでの練習の成果を発揮する場であると同時に、自分たちのチームをつくる第一歩でもあります。大会に向けて、どの部活動も技術の向上やチームワークの強化、役割分担の工夫、仲間への声かけ、挑戦する姿勢など、熱心に練習を重ねてきました。こうした日々の積み重ねが、必ず大会での力となります。新人戦は勝敗以上に「どれだけ挑戦できたか」が問われる大会です。大会当日は、練習で培ってきた力を存分に発揮し、堂々とした姿を見せてくれることを期待しています。

また、部活動を支えてくださる保護者の皆様や地域の皆様の温かい応援が、生徒たちの大きな力となっています。心より感謝申し上げます。

生徒たちは、学年ごとに異なる課題や挑戦を迎えています。3年生は進路選択という人生の節目に向き合い、1・2年生は学校の自治活動や部活動を通して主体性を育んでいます。保護者や地域の皆様におかれましては、今後とも、生徒たちが安心して学び、挑戦できる環境づくりに御協力いただければ幸いです。